

# News Release

報道関係者各位

2026年1月22日

株式会社 さくらさくみらい

## 保育園不足を“移動の工夫”で解決、『親子で乗れる送迎バス』運行

～急速に発展する、晴海エリアの子育て世帯に便利で安心な交通手段を～

「子ども・保護者・職員」三者の笑顔に満ちた子育て環境の創出を目的に、東京を中心に保育園運営を行う株式会社さくらさくみらい（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：西尾 義隆、以下「当社」）は、2026年4月より、東京都中央区の晴海エリアと月島エリアを循環する『親子で乗れる送迎バス』の運行を開始することをお知らせいたします。本取り組みは、急激な人口増加により保育園の入園ニーズが高まる晴海エリアと、比較的保育園に空きのある月島エリアをつなぎ、通園の選択肢を広げます。

保育園不足の問題を“移動の工夫”で解決する、新しい都市型子育て支援を提供いたします。



本画像はイメージ（AI生成を含む）です。実際とは異なる場合があります。

### ■ 『親子で乗れる送迎バス』運行の背景と二つの理由

当社は、2026年4月より、当社運営の保育園「さくらさくみらい」（※1）利用者専用の送迎バスの運行を実施いたします。施設に空きが少ない晴海エリアから、比較的施設に空きのある月島エリアへ送迎バスを走らせ、保育園不足エリアの課題を“新しい移動の工夫”で解決します。

本取り組みの実施の背景には、急激に成長した街の抱える2つの問題が関係しています。

## 1. 急激な人口増加に追いつかない、子育て環境の整備

中央区の発表（※2）によると、今後10年で区内の人口は3万人以上増加し、この少子化時代の中、0歳児人口も増え続けると予測されています。令和8年4月の保育所入所申込数においては、入園希望者数の一番多い1歳児で昨年対比+50人と発表されています。また、晴海エリアにおいては、大型マンション開発等による人口増加に伴い、子育て世帯が急増。今秋から、総戸数1,455戸の「HARUMI FLAG SKY DUO」の入居が開始され、より多くの世帯が暮らす街へと進化しています。それに伴い、保育園の定員の拡大や新規開設の予定はあるものの、それを上回る需要が生まれると予想されています。

## 2. 交通アクセスの不便さ

晴海エリアには鉄道の駅がなく、最寄り駅である都営大江戸線「勝どき駅」から、晴海フラッグの主要エリアまでは徒歩で15分以上かかります。2022年に公表された『臨海地域地下鉄構想』によると、地下鉄は2040年の開業と、実に14年も先の計画となっており、交通アクセスの不便さが子育て世帯の負担となっています。

『親子で乗れる送迎バス』は、これらの問題を解消し、通える保育園の選択肢を増やし、子育て世帯の生活を支援いたします。

※1 さくらさくみらい伝、さくらさくみらいつくだ大通りの2園に限る

※2 『中央区将来人口の見通しについて(人口推計)』（令和7年4月推計）

### ■『親子で乗れる送迎バス』詳細

- 運行区間：晴海エリア（停留所4か所） ⇄ 月島エリア
- 運行スケジュール：登園・降園時間帯に各4便
- 対象：当社運営の保育園を利用する親子（1～2歳児クラス在籍）※別途要件あり
- 費用：無料
- 安全対策：チャイルドシート完備、置き去り防止の安全装置『icuco eyes』  
(<https://www.icuco.co.jp/icucoeyes>)設置
- 特徴：位置情報お知らせシステム『バスwaCoCo』（<https://buswacoco.com/>）完備

### ■代表コメント



保育園を“選べる”ということを当たり前に。国や自治体の対策のおかげで保育園は増え、待機児童は減少傾向にはありますが、まだまだ“保活”には、エリアによりたくさんの課題があると思っています。特にマンション開発が急激に進み、人口増加の著しい晴海エリアでは、距離や交通の便の壁を理由に保育園の選択肢が狭まり、競争力は高まってしまっている現状です。保育園を増

やすには、様々な障壁があり、時間も要します。そこで公的な支援を後押しすべく、当社は『親子で乗れる送迎バス』の運行をスタートすることいたしました。

『親子で乗れる送迎バス』が、住む場所や保育園選びの自由度を高め、望む形の未来を運ぶ存在になれば嬉しいです。

代表取締役社長 西尾義隆

## ■今後の展望

今回の第一弾を手始めに、ルートや時間帯の追加など、子育て世帯のさらなるニーズに応えてまいります。新しい移動の手段の提案で、“通える保育園”の選択肢を増やし、住みたい街で、親子の望むライフスタイルを実現させます。

当社および、当社グループ会社は、保育園運営のみならず、あらゆる形で子育て中の家族の支援をし、より子どもを産み育てやすい幸せな社会を作るべく、子育て世帯に寄り添う新しい価値を届けてまいります。『親子で乗れる送迎バス』の運行は、子育て世帯が元気に暮らせる環境づくりの第一歩です。私たちは、晴海エリアからそのモデルをスタートしていきます。

## ■会社概要

会社名：株式会社さくらさくみらい

(株式会社さくらさくプラス[証券コード：7097]グループ会社)

代表者：代表取締役社長 西尾 義隆

設立：2009年8月3日

資本金：93,004,900円(資本準備金43,000,000円)

本社所在地：東京都千代田区有楽町1丁目2番2号 東宝日比谷ビル

企業URL：<https://www.sakura-39.jp/>

事業内容：保育所(さくらさくみらい)の運営 ※事業所数：東京/千葉/埼玉/大阪に88園

株式会社さくらさくみらいの親会社、株式会社さくらさくプラスでは、働く子育て世帯がより子育てをしやすい社会を目指し「共働き家族・子育て家族を応援する事業」を数多く展開しています。

---

本件に関するお問い合わせ先

株式会社さくらさくみらい 広報担当：徳永

TEL：03-6457-9539／080-9156-3803 [pr@sakura-39.jp](mailto:pr@sakura-39.jp)